

るみ子の議会報告 2009年度①

- ★ 民生環境常任委員会委員長
- ★ バイパス特別委員会
- ★ 青森地域広域消防事務組合議会議員
- ★ 西部地区下水道期成同盟会会長

- 青森市はこれまで、ホームレスなど住所がない人の生活保護申請を受付ないできました。派遣切りで、仕事と住まいを同時に失ない、故郷の青森に帰ってきたが、身を寄せるところもなく、仕事を探しているうちに蓄えも底をつき、生活保護申請をしようとしたら、住所がないと申請できないと拒否された事例や失業でアパート代を滞納し、車の中で寝泊りしている事例などをあげ、「生活保護法は住所がないことが生活保護の要件にかけるものでないと指摘している。厚生労働省の見解とも違う」と指摘し、「青森市」と書くだけで、申請できることを確認しました。
- 2003年から、ホームレスの自立支援のために、総合相談窓口の設置を提案してきましたが、今議会で「生活福祉課の中にその機能を備えている」と答弁がありました。
- 3月9日の本会議での一般質問後に「議会の答弁と窓口の対応が違う」との訴えが複数寄せられたので、予算特別委員会で「相談は受けるが申請させない窓口になっているのでは」と改善を求める。
- ホタテ貝養殖と複合可能なナマコやワカメなどの種苗生産と放流で、漁業経営の安定に寄与してきた水産指導センターの建て替えや機器類の更新を求める。
- 火事で焼死する人をなくするために、住宅用火災警報器の設置が義務づけられたが、今年に入って市内で2名が逃げ遅れて焼死しています。消防議会で、設置率の調査と設置促進を求めてきましたが、高齢者や障害者など、災害弱者の家庭だけでも把握するようにと質問しました。
春の火災予防運動時に各家庭を回り、設置をうながしていくと消防長より答弁がありました。



1月5日、街頭から新年の挨拶をする館田るみ子市会議員



市役所1階にある生活保護相談窓口



「申請窓口」にすべきだと求めて、手書きの「生活保護相談・申請窓口」が設置される。

るみ子の議会報告

2009年度②

- 鹿内新市長になってはじめての議会で、広島・長崎の両市長が「二度と原子爆弾の悲劇を地球上に繰り返してはならない」との決意のもと、呼びかけている「平和市長会」への参加を求めて質問しました。

鹿内市長は「検討してまいりたい」と答え、後日、「平和市長会」に加入しました。

- 08年6月議会で質問したあすなろ橋西側（篠田）に駐輪場が整備され、路上の違法駐輪がなくなり、喜ばれています。

- 三内と梨の木のごみ焼却施設が老朽化してきたので、市は新しい焼却施設の建設計画中です。

「自治体で温室効果排出ガスを一番出しているのが、ごみの焼却施設だから、ごみの減量化とリサイクルを進め、燃やすごみを少なくし、焼却施設の規模を出来るだけ小さくすべきと求めました。

また、事故多発・高コストのガス化溶融炉・灰溶融炉は避けるべき!と求めました。

- 鹿内市長は10月15日、9月議会答弁で約束した「森の広場」の現場視察を舘田市議、澤田市民文化部長らと行い、立ち会った自然環境を守る会に「皆さんの提案などいくつかの案を検討してお知らせします」と答え、その後、舘田市議が質問した天田内の水源保護地域内の産廃処理場跡地、乱開発された林地、水道部が計画している植林地も視察しました。

- 6月議会、12月議会で「バス事業の財政支援と高齢者の社会参加を促すためにも高齢者のバスの無料化を再開するよう求めて質問しました。

- 視察した富山市の「赤ちゃんから障害者、お年寄りまで身近に利用できる小規模多機能施設」を紹介し、青森市でも実施するよう求めました。

鹿内市長から「マニフェストに掲げている子供、障害者、高齢者の方がともに生活できる共生ケアを進めるために必要であり、次期計画の中で検討していく」と答弁がありました。



09年は、核兵器のない世界を呼びかけたオバマ大統領かかしをつくり、「かかしロード280」に参加しました。



あすなろ橋の下に整備された駐輪場



鹿内市長と「森の広場」の現場視察。ミズバショウ観察路付近で。